

学園へのご寄付・ご支援について

昨年度の寄付金総額は、多くの皆さまからのご賛同、ご協力を賜り、2,331,000円となりました。皆さまの温かいご支援に感謝いたしますとともに、厚く御礼申し上げます。

お寄せいただいた寄付金は、寄付者さまのご意思(使途区分)ごとに、本学園が設置する千里金蘭大学、千里金蘭大学大学院、金蘭会高等学校・中学校、金蘭会保育園およびスペシャルプログラムの奨学資金、研究支援資金、課外活動資金、施設・設備資金、図書購入資金、教材充実資金などに充当させていただきます。

令和7(2025)年に金蘭会学園は創立120周年を迎えます。こ

れまでの基本理念を継承しつつ、現代社会のニーズにこたえ、生涯にわたる教育機関をめざすべく、それぞれの学びが一体となって、これからも新しい挑戦を続けてまいります。

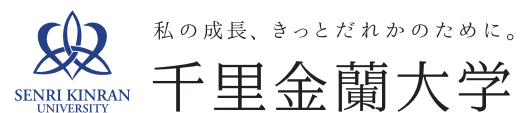
昨今の厳しい経済情勢の折柄、誠に心苦しいお願いとは存じますが、引き続き、ご賛同を賜りますよう哀心よりお願い申し上げます。

金蘭会学園 法人事務局 経理・財務部
TEL.06-6872-7703 FAX.06-6872-7707
本学園ホームページ「ご寄付のお願い」
[URL] <https://www.kinran.ac.jp/hojin/contribution/>

年間スケジュール(前期)

2024								
4月	2日(火)	令和6(2024)年度入学式	5月	26日(日)	オープンキャンパス	8月	5日(月)	専門科目、保育、教職科目調整期間 (8/5~8/7)
	3日(水)	オリエンテーション		6月	16日(日)		オープンキャンパス	11日(日)
	4日(木)	オリエンテーション	7月		15日(月・祝)	祝日授業日	13日(火)	夏季一斉休業(8/13、14)
	5日(金)	オリエンテーション		21日(日)	オープンキャンパス	23日(金)	前期成績Web発表日(予定)	
		8日(月)	前期授業開始	26日(金)	前期最終授業日	25日(日)	総合型選抜チャレンジAOI期	
5月	21日(日)	オープンキャンパス	27日(土)	オープンキャンパス	9月	13日(金)	保護者宛成績発送日(予定)	
	2日(木)	学園創立記念日(119周年)	29日(月)	授業予備期間(7/24~8/2)		23日(月・祝)	後期授業開始/祝日授業日	
	6日(月・祝)	祝日授業日						

※4月中旬現在の予定です。スケジュールが変更となった場合は、大学ホームページなどで適宜お知らせいたしますので、予めご了承くださいませようお願いいたします。



千里金蘭大学 総務課

〒565-0873 大阪府吹田市藤白台5-25-1 tel.06-6872-0673
発行/令和6(2024)年5月30日

大学web <https://www.kinran.ac.jp/>

公式Twitter <https://twitter.com/senrikinranuniv>

受験生応援サイト <https://www.kinran.ac.jp/cheer/>

受験生応援ブログ <https://www.kinran.ac.jp/cheer/blog/>

広報サークル Instagram [kinran.pr.circle](https://www.instagram.com/kinran.pr.circle)

編 | 集 | 後 | 記 |

昨年度、本学は高校生を対象としたリクルート進学総研の調査において、「キャンパスがきれいであると思う大学」の関西8位にランクインしました。建物自体は最新ではありませんが、いつも清掃の方々が構内を清潔できれいに保ってくださっていることと、学生の皆さんがマナーよく施設を使用されていることがオープンキャンパスなどで訪れた高校生に評価された結果だと思います。今後、この「きれいな大学」のイメージが定着していけば嬉しく思います。



Vol.27
2024.May
学 報



2025年、金蘭会学園は
創設120周年を迎えます

私の成長、きっとだれかのために。



- 01 学長メッセージ
千里金蘭大学後援会からのご挨拶
- 02-04 学部・学科 MESSAGE
- 05 研究科 MESSAGE
- 06 部局 MESSAGE
- 07 ゼミ探訪 vol.19
- 08 クラブ紹介
- 09 学位授与式報告/入学式報告
- 10 新任教員紹介
- 11 学園へのご寄付・ご支援について
年間スケジュール(前期)

学長メッセージ

千里金蘭大学 学長
福 嶋 教 偉



本学は開学20周年を迎え、昨年から、女性が社会で大きく活躍できる栄養、教育、看護の3学部体制として出発しました。また、一昨年度に大学院看護学研究科修士課程を開設し、現在11名が修士課程の研究に勤しんでいます。これらの大学の組織の変革と同時に、新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、昨年度からさまざまな海外研修を再開し、今年度も栄養学部国際栄養コースの韓国釜山研修、教育学部海外インターシップの英国ロンドン前田学園研修、栄養学部国際栄養コースのニュージーランドオークランド研修を予定しています。

入学式でもお伝えしたように、近年徐々に人の多様性Diversityが認知されるようになり、そのひとつに男女平等の概念が認められるようになりました。しかし、社会では、Diversityの認知と称して、単に女性の就職率や役員率を増やす風潮があります。具体的には、女性大臣の比率が世界的に低いから大臣を増やすなどの報道があります。このことは、その女性大臣をお飾り(マスコット)的に扱っているのであって、これこそ女性を差別していることだと思います。女性であるからその地位に就くのではなく、その女性が性別に関係なく、その地位に就くのが相応しい人格であるからその地位に就くようにすることが、重要だと思っています。つまり、女性自身の方も、自分のなりたいと思う職務に相応しい知識、技術、人間性を養うことが重要と思っています。

大学の入学が終着点ではなく、また資格を取得して就職することが終着点ではないと思います。皆さんが、どのような大学生活を過ごしたいか、どのような職業に就いて、どのように社会で活躍したいか、つまり自分がこれから何をしたいのか、まずじっくり自分の夢について考えてください。そして、その夢に向かって勉学に励んでください。栄養、教育、看護は、すべて人を扱う学問です。ぜひ千里金蘭大学で、あなたの夢を見つけ、自らの夢を叶えるため知識や技術だけでなく、人にやさしい心を養ってください。そしてそれぞれの分野のプロとして、女性としての人生をさらに広げてください。前進するあなたを、教職員一同は全力で応援します。

これも入学式でお伝えしましたが、これから大学生活において、また卒業後に社会へ出て、いろいろ悩むことがあると思います。そんなときに、ぜひ一人で悩まないでください。コロナ禍のため対面で話をするのが不慣れかもしれませんが、ぜひ遠慮なく何でも相談してください。すべての悩みを私たちが解決できないかもしれませんが、自分の悩みを人に相談することで、悩みの本質を理解することができ、悩みを解決する糸口を見つけることがあります。また、悩みを自分ひとりのものにせず、他人と共有することで、孤独感が減り、気持ちになります。他人に相談することに慣れていない学生には、勇気のいることかもしれませんが、ぜひ私たちに声をかけてください。

学生の皆さんは、千里金蘭大学という学びのキャンパスを十分に活用し、希望に満ちた大学生活を満喫してください。そうなるように、私たちは全力で応援します。

千里金蘭大学後援会からのご挨拶

新入生の皆さん、そして保護者の皆さま、千里金蘭大学へのご入学、まことにおめでとうございます。また、在学生の保護者の皆さまには、日ごろより後援会活動へのご理解とご協力をいただき、心より御礼申し上げます。

千里金蘭大学後援会は、保護者により組織され、学生支援を目的として、教育内容の強化、課外活動の充実、学生生活環境の整備などに向け、大学経営の財政的基盤の充実を保護者同士で支え合うことを主な役割としており、今年で設立10年目を迎えます。

今年度も、全保護者のご入会をいただくことができ、感謝申し上げます。

昨年度は、学生の通学の利便向上の観点から大学の最寄り駅から大学前までのバス回数券乗車制度に係る費用の一部補助や、防犯上の観点から中庭および佐藤記念講堂裏手から大学北門への通路への夜間照明の設置を行いました。今年度は、中庭ベンチの更新もしくは防災用ベンチの購入を予定しているほか、令和5年度より4年間の計画で行っている環境整備を目的とした積立金を引き続き行ってまいります。

後援会は、これからも学生の皆さんが安心して学生生活を送ることができる環境づくりに尽力して参る所存でございます。

<https://www.kinran.ac.jp/kouenkai/>

本学ホームページに後援会ページを開設しておりますので、ぜひご覧ください。



令和6(2024)年4月1日

千里金蘭大学 後援会会長 齋藤 政代

学部・学科 MESSAGE

栄養学部 栄養学科

学部長メッセージ

栄養学部長・栄養学科長
鎌田 洋一

学生の学外活動を奨励し、
個性豊かな学生を育成します。

2023年4月に栄養学部栄養学科に改組し、1年が経過いたしました。この1年間で大学の教育研究に最も大きな影響を与えたのは、新型コロナウイルス感染症への対策緩和でしょう。コロナ禍の影響を最も強く受けたのは、本学科の「国際栄養コース」でした。2023年度、海外研修や国内研修を数多く設定していた同コースを、計画どおりに実施できましたことは、本学科にとって大変充実した教育活動でした。

管理栄養士を養成する大学は、大阪、近畿、関西、全国に多数存在します。病院に勤務する管理栄養士、小中学校に赴任する栄養教諭、機能的食品開発に貢献する管理栄養士などを育成するのが使命です。数ある大学の中で、国際栄養コースを設置し、また、学生の学外活動を奨励している本学が、個性豊かに学生を育成し、本学独特の活動が広く認知され、ブランド化していけるよう、教員一同、努力してまいります。

学生の活動実績

視野を広める ニュージーランド研修

2024年2月23日から3月10日までの15日間、7名の栄養学科学生がニュージーランド オークランドに研修に行きました。学生の皆さんは毎日午前中日本語を使えない英語レッスンを受け、午後には、2回のクッキングレッスンに加え、ニュージーランドのスイーツカフェ訪問、スーパーマーケットの栄養ツアー、アイスクリームカフェツアーなど、食と栄養関連の経験をしました。自由時間には、動物園、ビーチ、ハイキングなど、ニュージーランドをエンジョイしました。学生の皆さんは、解放感とともに、大いに刺激を受けたことでしょう。



食育ワクワクEXPOに 参加しました

2024年1月6日、阪急うめだ本店9階うめだホールで開催された『食育ワクワクEXPO』に、栄養学科1年生3名、食物栄養学科3年生3名が参加しました。本学を含めた5大学合同でブース出展し、「減塩」「食品ロス削減」「食事バランスガイド」に関する体験型の食育を展開しました。また、ステージでは食品ロス削減のおすすめレシピ動画を上映。本学からは公衆栄養学研究室令和3年度卒業研究ゼミ生が制作した3作品を、多くの来場者にご紹介することができました。その他、食育SATシステムを使った食生活指導のサポートや、入場者をご案内する受付など、イベント全体のサポートも体験しました。みんな笑顔いっぱい!とても充実した1日でした。



神戸元気サーモンを使って 新商品開発

2022年度より、神戸市で養殖されている神戸元気サーモンの認知普及活動に取り組みました。サーモンを使ったパスタソースのレトルト商品をめざしてレシピを作成し、イタリアンのシェフから助言をいただきながら試行錯誤を繰り返しました。2023年度にはエリンギと野菜のクリームベースのサーモンがゴロゴロはいっているパスタソースが完成しました。学生たちは、新商品のコンセプト作り、何度も繰り返した試作、レトルトの製造、販売(百花繚蘭祭、北千里マルシェ)まで実施しました。



教育学部 教育学科

学部長メッセージ

教育学部長・教育学科長
島 善信

4年間の学びを通して、
子どもの成長にしっかり向き合える人材に育ってほしい。

新入生並びに保護者の皆さま、ご入学おめでとうございます。心から歓迎いたします。
「教育学部教育学科」は2年目を迎えました。4年間の学びを通して、自立した社会人として、教育・保育の専門職員として、子どもの成長にしっかり向き合える人材に育ってほしい、そんな願いをいっそう強くしています。1年次から、「金蘭おやこクラブ」や「子ども地域活動」などの時間に、子どもと触れ合う機会がたっぷりとあります。言葉かけや遊びなどで直接その姿からたくさん学んでください。また、自分自身の持ち味や可能性をじっくりと考え、仲間とともに「なりたい自分」を探し見つけることにチャレンジしてください。

さあ、子どもとともに成長できる教育・保育のプロへと、4年間のキャンパス・ライフを始めましょう。皆さんの夢の実現をめざして、私たちは全力でサポートします。

学生の活動実績

まちなかりビング北千里 1周年イベント

まちなかりビング北千里1周年記念イベントで、2年生が中心となり、子ども向けのおそび場「あそびのひろば」を企画運営しました。当日はたくさんの親子連れが参加してくださり、製作や手作りゲームを楽しむ姿が見られました。自分たちが考えたあそびが、子どもたちにどう届くのか、実践し体験することで多くの気づきがあったようです。子どもと直接触れ合いながら学びを深める体験がとても大切だと実感する一日となりました。



「先生になりたい！」 夢の実現をめざして

今、教育現場の厳しさばかりが強調されていますが、先生という仕事は子どもの成長を支援しながら先生自身も成長していくやりがいのある仕事です。学校園では先生方は夢と志を抱いて、日々、教育活動に携わっています。小学校の教員をめざす学生は、そんな「先生になりたい！」と夢の実現のために、教職支援室で筆記試験や面接試験の準備として、みんなで和気あいあいと、時には頭を悩ませながら努力を重ねて力を蓄えています。



授業を通した 小学校体験

教育学科では授業を通して小学校体験が積めるさまざまな取り組みを行っています。とくに教員志望者が多い教育ゼミでは、年間を通して計画的に学校現場に入り、企画から実施まで学生たちの手による「さんすう教室」や教育ボランティアなどを続けています。熱意ある姿勢は連携先の小学校から高い評価を得ており、学生にとっても児童理解を深め、実践力を培う場となっています。今後も子どもたちの笑顔に出会える多彩な体験活動を進めます。



看護学部 看護学科

学部長メッセージ

看護学部長
藤田 俱子

自ら学ぶ姿勢といろいろな人たちとの交流の中から
社会で活躍できる力を育んでください。

新入生の皆さんご入学おめでとうございます。在学生の皆さん進級おめでとうございます。
看護学科では病院などの医療機関での実習があるため、さまざまな形で感染対策を講じながら、学生の皆さんにとって学びとなる環境を整えていきたいと考えています。これらの対策を通して医療職になる自覚をはぐくみ、感染予防行動がしっかりとれるようになってほしいと思っています。大学での学修で大切なのは学生が自ら学ぶ姿勢です。友人と共に探求し学修する体験はとても素敵な思い出になっていきます。千里金蘭大学では、他学年の学生との交流の時間もあり、同学年の学生だけでなく、1年生から4年生まで、多学年の交流により人とかかわり方、学ぶ側や伝える側の態度など社会で活躍する際に必要となる力もはぐくんでほしいと思っています。

学生の活動実績

広域看護学実習が 2023年度から始まりました

実習施設である吹田市子ども・若者総合相談センター（ぶらっとるーむ吹田）でスタッフの方から説明をしていただきながら見学を行いました。また、見学だけでなく、学生同士で話し合い、助言をいただく学びを深めるグループワークを行いました。広域看護学実習では、他にも国立循環器病研究センター、あいほうぶ吹田など、大学が所在している吹田市に立地している施設について学びました。



2月に病院説明会を行いました

2022年度まで新型コロナウイルス感染症の対策としてオンラインで行っていた病院説明会を、2023年度は対面方式で実施しました。多くの病院さまに参加いただき、学生は直接質問して、疑問を解消し、就職先について考えることができました。



看護学研究科

研究科長メッセージ

看護学研究科長
登喜 和江

新入生を迎え、
さらに学びの幅が広がる予感。

2024年度から新カリキュラムでの授業が開始されることになりました。先生方の得意分野と特色のある授業が展開されることに期待が膨らみます。また、今年は7名の院生が新メンバーとして加わり、院生室も賑やかになりました。さまざまな看護経験を有する学生たちの集まりは、授業や看護研究においてもその幅を広げてくれます。これまでの看護活動に誇りと自信が溢れている反面、現状に満足せずより高みをめざす学生たちの思いに教員も刺激を受け、共に次のステージをめざしたいと思っています。

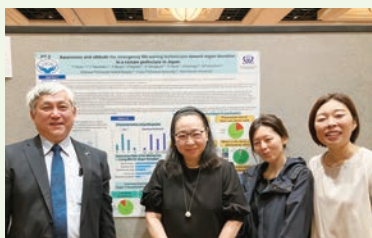


▲ 緊張の中、初日の授業が始まりました。

学生の活動実績

国際学会での研究発表で 心躍る経験

大学の研究助成金を活用して、指導教員と共にラスベガスで10月に開催された国際臓器提供学会 (ISODP2023) に2名の院生が出席し、これまでの研究成果を発表しました。初めての国際学会参加でしたが、心躍る貴重な経験となり、新しい知見を広げることができたとの感想が聞かれました。また、次回開催は京都とのことで、しっかり広報活動もしてきたようです。頼もしい限りです。



学術集会に参加して 刺激を受けました

大学の研究助成金を活用して、山口県下関で開催された日本看護科学学会 (12月) に参加しました。コロナ禍における看護教育、新人看護師関係など興味深い口演がたくさんあり、会場によっては熱い議論が交わされ、また文献でお名前を拝見した先生方の発表を聴き、多くの刺激を受けたとのこと。さらに、職場と大学との行き来の毎日から束の間のリフレッシュもでき、心も味覚も満たされたようです。



教員と共に FD研修会に参加

看護学部・看護学研究科の教員と共に大学内で開催されたFD研修会に4名の院生も参加しました。「ライティングを評価する」のテーマでアカデミック・ライティングの説明を受けた後、学部学生のサンプルレポートを一文一義、パラグラフ、構成の項目で論理性・一貫性を個人ワークで評価し、更に教員とのグループワークで意見交換を行いました。院生からは『自身のレポート作成や職場でも活かそうだ』との感想が聞かれました。



部局 MESSAGE

学修・キャリア総合支援センター

学生一人ひとりの“私らしき発見物語”を支援します

心理学者の諸富祥彦さんは、キャリア形成のための大切な7つの力として、「出会いに生き方を学ぶ力」「夢見る力」「自分を見つめ選択する力」「人とかかわる力」「達成する力」「七転び八起き力」「社会や人に貢献することに喜びを感じる力」をあげています。本センターは、学生の皆さんが、これらの力を伸ばし、社会の中で人とかわりながら自分の役割や価値を見つけていく、皆さん一人ひとりの“私らしき発見物語”を支援するために、今年度も「学修サポート」「メディアサポート」「就職活動支援」「採用試験対策」に取り組んでいきます。



附属図書館

図書館の魅力

世界最古の図書館は紀元前七世紀にできたと言われています。アッシリアの王アッシュルバニパルが建てたニネヴェ図書館です。集められたのは今のような紙の本ではなく、主として粘土板文書でした。



それ以来、世界中に図書館が作られるわけですが、そもそもなぜ人間は本を集めるのでしょうか。「記録」という実用上の目的ももちろんあります。しかし「何かを集める」という行為は(まるでリスがクルミを集めるように)人間に本来的に備わっている性向なのかもしれません。

とすれば、図書館はそこに通った人々の指向・嗜好の積み重ねともいえるわけで、その総体こそが図書館の魅力の源泉といえるのではないのでしょうか。ぜひ皆さんも図書館に足を運び、その魅力をさらに高めていただきたいと心から願っています。

教学センター

新年度へ向けて

新しい学年が始まり、これからの1年間は学びの中においても、素晴らしい体験や発見が待っています。困難に直面したときも、教学センターでは各種サポート制度を整えていますので、お気軽にご相談ください。また、重要なお知らせについては、掲示板にも掲示していますので、定期的にチェックしてください。良いスタートを切り、充実した学生生活を過ごせるように、全力でサポートしていきます。



研究推進・社会連携センター

「吹田市民大学講座」について

11月、生涯教育の場を提供することを目的として、本学において「生涯学習吹田市民大学 千里金蘭大学キャンパス講座」を吹田市と連携して開催しました。新型コロナウイルス感染症も収束に向かい、コロナ禍ではできなかった、健康的な声を出す方法や音楽的に歌唱する方法をコーラス形式で参加者が実践する講座に加えて、「薬剤の開発過程とその秘話」、「家庭系食品ロス削減推進」、「平安時代の病氣と医療」の全4講座を開催し、大変多くの市民の方にご参加頂きました。



アドミッションセンター

学生の皆さんの魅力を伝えるイベントが、
皆さんの成長にもつながります

学生の皆さん、いつもオープンキャンパス運営へのご協力、誠にありがとうございます。来場者から「学生の皆さんがとても優しく丁寧に対応してくれた」「たくさんお話しができて楽しかった」などの声があり、皆さんを通して本学の魅力を感じていただけるイベントの開催ができております。

また、学生の皆さんからは「コミュニケーション力が上がった」「先輩・後輩と仲良くなれた」「他の学部の友だちができた」と、ご自身の成長につながる場にもなっています。

今後も学生の皆さんにとっても充実したイベントの開催をめざしてまいります。引き続きご協力をお願いいたします。





笹本 美佐 教授

精神看護を探究することで、 社会人基礎力も培おう！

精神看護学研究ゼミは、毎年5名～10名程度のこじんまりとしたアットホームな雰囲気で行っています。学生が互いに励ましあい、助言しあいながら主体的に取り組んでいる姿に成長を感じ、教員の喜びにもなっています。今年度は、コロナが5類に移行し、学生同士や教員と集える時間が増え、より支えあいながら学びを深めることができていたように感じています。

本ゼミの看護研究のテーマとしては、統合失調症やうつ病などの精神障がい者やその家族への援助、精神科病院に勤務する看護師の受ける暴力やストレスに関すること、学生が実習で体験した困難に関すること、大学生のメンタルヘルスに関することなど多岐にわたります。最近では、統合失調症より自閉スペクトラム症をテーマにする学生が増えており、社会現象との関連性が強く現れています。このように、社会現象や実習での体験における疑問や興味・関心をもとに先行文献を検索する、何がどこまで明らかにされているのかを知る、自分は何を知りたいのかを考える、を繰り返しながらテーマをフォーカスしていきます。この時期は、学生にとって一番心が折れる時期のようですが、研究に取り組む主体性や実行する力、考え抜く力が身につく、学生の達成感や自信になっていると感じています。

看護研究計画書を作成するプロセスは、学問的なことだけでなく、経済産業省が提唱している社会人基礎力、具体的には主体性や実行力を要素とする前に踏み出す力、問題発見力、計画力、想像力を要素とする考え抜く力、発信力、傾聴力、柔軟性、状況把握力、規律性、ストレスコントロール力を要素とするチームで働く力を培うことにつながると痛感しています。



student's message

ゼミ生メッセージ

私は、実習中の自分自身の経験から「精神疾患をもつ受け持ち患者による学生への精神的暴力が精神看護学実習に及ぼす影響」について研究しました。研究をどのように進めていけば良いか悩むときもありましたが、教員や学生のサポートもあり進めていくことができました。また、私自身の体験について文献を用いて理論的に考える機会にもなり、自己理解を深めることにもつながりました。この体験を今後の看護に活かしていきたいと思います。

足立 瑛麻 さん

統合失調症の母親を持つ子どもに焦点をあて、子どもが要望する支援を明らかにすることを目的として研究に取り組みました。テーマを決めるのに時間がかかり、行き詰まることもありましたが、先生や学生からの助言もあり、研究を進めることができました。何が明らかにされているのか、されていないのかなど何度も先行研究を繰り返し調べ、知ることの大切さを学ぶとともに念入りに調べ吟味する力を身につけることができたと思います。

内藤 綾乃 さん

CLUB Activities

クラブ紹介

広報サークル

広報サークルは4年生4人、3年生5人、2年生3人の計12人のメンバーで活動しています！主な活動内容は、学内で行われるイベントの様子、毎週更新される食堂のメニュー、また大学の近隣施設や飲食店をInstagramで紹介しています。アドミッションセンターと共同で他サークルの活動やオープンキャンパスの情報も紹介しており、学生や高校生に向けて大学の魅力を伝えています！活動を通して学年学部を超えての関わりがあり、どのメンバーも明るく楽しんで活動しています！



強化クラブ

強化クラブ秋季リーグ結果

- バレーボール部
2023年度関西大学バレーボール連盟 秋季リーグ戦
1部リーグ 12位
- ソフトテニス部
2023年度関西学生ソフトテニス 秋季リーグ戦
4部リーグ 4位
- 卓球部
2023年度 関西学生卓球 秋季リーグ戦
2部リーグ 2位



卓球部



ソフトテニス部



バレーボール部

令和5(2023)年度 学位授与式報告

令和5(2023)年度学位授与式が3月15日(金)に、佐藤記念講堂において執り行われました。始めに、食物栄養学科53名、児童教育学科53名、看護学科91名、計197名の卒業生を代表して各学科の総代が登壇し、福嶋学長から学位記が授与されました。続いて、4年間を通じて最も成績が優秀であった学生に与えられる「商議員賞」、学業を含めスポーツや社会貢献に優れた活動に取り組んだ学生に対して与えられる「佐藤賞」の授与が行われました。関係団体各賞・記念品の授与は右記のとおりです。福嶋学長からの式辞、島崎理事長からの祝辞に続いて、門出の誓いとして、各学科の代表から、4年間学生生活を支えていただいた方々への感謝の気持ちと今後の抱負が述べられました。卒業生の皆さん、この度はご卒業おめでとうございます。皆さんの今後のご活躍を、本学教職員一同祈念いたしております。



学 科	食物栄養学科	児童教育学科	看護学科
総代・商議員賞	庄司 ゆう さん	入江 香須美 さん	山中 乃鈴香 さん
佐藤賞	河野 美玖 さん	土居 真琴 さん	鳥松 あかね さん
関係団体各賞授与	奥野 恵実 さん (全国栄養士養成施設協会)	岡田 紗都子 さん (全国保育士養成協議会会長賞)	藤本 優花 さん (日本私立看護系大学協会)
	河村 明日香 さん (日本フードスペシャリスト協会)		辻本 優那 さん (大阪府看護協会会長賞)
			柳田 涼帆 さん (大阪府助産師会会長賞)
門出の誓い	田村 蓮華 さん	谷脇 鈴夏 さん	細川 理誉 さん



令和6(2024)年度 入学式報告

令和6(2024)年度千里金蘭大学および千里金蘭大学大学院入学式が4月2日(火)に佐藤記念講堂で執り行われました。栄養学部栄養学科50名、生活科学部食物栄養学科3年次編入学4名、教育学部教育学科36名、看護学部看護学部88名、計178名の学部生および大学院看護学研究科7名の大学院生が希望を胸に学生生活の新たな第一歩を踏み出しました。厳粛な雰囲気の中で式が挙行され、看護学研究科・宮下亜希さん、栄養学部栄養学科・中嶋小羽さん、教育学部教育学科・清水華さん、看護学部看護学科・上武優花さんによる新入生代表宣誓が行われました。続いて福嶋学長式辞、島崎理事長祝辞等があり、新入生たちは改めて気持ちを引き締めている様子でした。当日は天候に恵まれ、桜も満開を迎える中、キャンパス内では新入生の晴れやかな笑顔であふれました。千里金蘭大学に入学されました新入生の皆さま、ご家族の皆さま、おめでとうございます。



新任教員 紹介

- ① 学位
- ② 研究テーマ(専門分野)
- ③ 千里金蘭大学での主な担当科目
- ④ 千里金蘭大学での抱負

栄養学部 栄養学科



渡辺 聡美 講師

- ①修士(学校教育学)
- ②健康と食生活、食環境整備
- ③応用栄養学
- ④夢と希望をもって、人に寄り添うことができる人間性豊かな管理栄養士と一緒にめざしましょう。



石橋 朋美 講師

- ①修士(栄養学)
- ②臨床栄養学
- ③臨床栄養学
- ④食は生きがいの大切な要素!健康増進・病態改善への管理栄養士の関わりを伝えます。

教育学部 教育学科



山方 貴順 講師

- ①修士(教育学)
- ②社会科教育学
- ③教師論
- ④授業で勝負できる教師を育てたいと考えています。学ぶ楽しさを一緒に感じましょう!

看護学部 看護学科



林 秀行 教授

- ①博士(医学)
- ②分子生理学
- ③解剖生理学
- ④身体の構造と機能の融合した世界を学ぶことで「ヒト」を理解していきます。



外村 晴美 准教授

- ①博士(看護学)
- ②母性・助産・ウイメンズ看護
- ③母性看護対象論
- ④母子が健康に過ごせるように、妊婦・産婦・褥婦のセルフケアを高める看護を一緒に考えましょう。



松井 博子 助教

- ①修士(看護学)
- ②母性看護学・助産学
- ③助産診断技術学演習
- ④母性看護を通して人との出会いを大切に、豊かな人間性を深められるように一緒に学んでいきたいと思っています。



上村 志津子 助教

- ①修士(看護学)
- ②慢性看護学
- ③慢性看護援助論演習
- ④看護の楽しさや奥深さを、学生の皆さんと一緒に学んでいきたいと思っています。



木下 みき 助教

- ①修士(看護学)
- ②精神看護学
- ③精神看護援助論演習
- ④看護について学生の皆さんと一緒に学び、探求していきたくて考えています。